

金融損失 28 億円！

新自由主義大学をぶつつぜ

監獄大学 = 法大の正体は、「教育」で金儲けにはしる新自由主義大学だ。年間 650 億円（全資産の 3 分の 1）を資産運用 = 金儲けにつかってきた！そして昨年度の金融損失は 28 億円！！なんと 2000 人の年間授業料に匹敵する金が吹き飛んだ。

この金とはもといえは学生の学費ではないか。奨学金で借金させてまでかき集めたお金だ。新自由主義大学は、学生を利用して金儲けに興じてきたのだ。

文化連盟は新自由主義大学と真っ向対決で闘った。これに対する増田の回答は何だったのか？声を上げた学生を「処分」！ピラをまいたら「営業権の侵害だ」と仮処分！あげくのはてには「威力業務妨害」で逮捕！こんなものは大学ではない。法大生の力でぶつつぶそう！

4・24集会での文連・斎藤委員長アピール
「学生の未来を奪う新自由主義。われわれ学生の存在が、加工されるための製品、企業に身売りされるだけの商品とみなされている。人間の尊厳を否定し、自由を奪う、ここまで大学を腐らせた新自由主義にもはや可能性はない。自由を取り戻そう！社会を変革しよう！」



戦争を止める力も、法大生の中にある

「ピラ一枚もまけない」「1ミリの批判すら認めない」「声を上げるのも命がけ」-これが今の法政大学だ。びっくりするくらい、かつて戦争に向かったときと同じではないか。大学に自由が奪われたとき、大学が支配に屈したとき、戦争が始まる。これが歴史の教訓ではなかったのか。

文化連盟にたいし「暴処法」という法律が適用されている。「暴処法」は戦前、治安維持法とセットでつくられた法律だ。戦争体制を築くために猛威をふるった。「暴処法」

は戦争への道だ。

しかし法大生のみんなに訴えたい！「暴処法」は敵の恐怖の表れだ。4・24法大生の団結した闘いに、戦争を止め、社会を変えるエネルギーが充ち満ちていたことの証にほかならない。

文化連盟の逮捕は

労働者・学生総決起の号砲だ！

文化連盟逮捕は、法大生の怒りの最深部に火をつけた。「もう黙ってられない」「自分に何か出来ることはないか」法大生の怒りが噴き上がっている。敵は完全に墓穴をほった。法大生の力で、12人をとりもどそう！

法大生だけではない！「暴処法を許せば戦争・改憲の道」「学生の頑張りに続くぞ」-そういつてあらゆる層の人々が声を上げている。「暴処法弾圧を弾劾し、12名の即時釈放を求める《緊急弁護士声明》には、わずか1週間で170人をこえる弁護士が名を連ねた。弁護士や大学教授、労働組合のリーダーたちが呼びかけた《緊急全国声明》の賛同も710筆あつまった。（いずれも6月3日現在）

文化連盟の闘いは、新自由主義と戦争と対決するすべての労働者・学生の展望だ。

6月5日が12人の勾留満期だ。正義を貫いて闘うリーダーたちを絶対に奪還しよう。そして新自由主義と戦争と対決する、6・14全国労働者総決起集会と6・15法大弾圧粉碎！労学総決起集会に、すべての法大生は立ち上がるろう！



12人をとりもどせ！
法大弾圧粉碎緊急集会には420人が集まった（5・22）

国鉄1047名解雇撤回！労働者派遣法撤廃！
改憲阻止！麻生政権打倒！

6・14全国労働者総決起集会

6月14日(日) 13時開会
代々木公園B地区(けやき並木)
主催 6・14集会実行委員会

法大学生弾圧粉碎！

6・15反弾圧全国労学総決起集会

6月15日(月) 12時半開会
法大市ヶ谷キャンパス正門前
主催 6・14集会実行委員会